

第4回菊川市こども・若者参画協議会 協議内容

日 時 令和6年10月31日（木）午後6時～午後7時30分
場 所 庁舎東館3階301会議室

1 議事

（1）菊川市こども計画（抜粋）第5章の意見に対するフィードバックについて

第3回会議のグループワークで出したこども計画第5章の内容に対する意見について、担当のこども政策課からフィードバックがあった。

資料1、2の赤字部分が変更・修正した部分で、今回こども・若者参画協議会から出した34件の意見に対して、各担当課で協議・検討したところ12件の修正となった。回答は、意見に基づき変更した内容の説明や、変更しない・できない場合はその理由について説明された。

（2）グループワークについて

テーマ：今後市役所の会議で、こども・若者委員が意見を言えるようにするには？

今後、こども・若者が委員となる会議が増えていくことになるが、前回の協議会のように難しい案件もある。どうすれば、こども・若者委員の人達が意見を言いやすくなるか。

Q1：良い話し合いってどんな話し合い？

→これまで経験した話し合いはどんな様子だったか？学校ではどうか？
会議が盛り上がった時はどんな状況だったのか？

Q2：市役所の会議にこども・若者が参加しやすくなるためには？

→こども・若者が委員となる会議が増えていくことになるが、意見を言いやすい雰囲気づくりや質問の仕方などについて、どう思うか？

※グループワークでの意見は別紙のとおり

2 担当所感

今回は、前回の会議で出した意見に対し、こども政策課からのフィードバックと、今後市役所の会議で、こども・若者委員が意見を言えるようにするために必要なことについてグループワークを行った。

フィードバックについて、協議会から出した34件の意見に対し、12件の修正・変更につながった。また、変更できない点についても、その理由を説明することで概ね納得してもらえたものと感じた。計画案について意見を求められることは、大人にとっても大変な労力が必要なので、こども・若者に対しては、より丁寧でわかりやすい対応が求められる。しかし、その対応は、担当課にとっても大変な労力が必要なことなので、何をどこまで対応するのか判断が求められる。

今回のグループワークでは、前回の協議会の内容が難しかったとの感想が多か

ったことから、今後市役所の会議で、こども・若者委員が意見を言えるようにするために必要なことをテーマに協議した。

市役所職員は、これまでの経験からいつもの会議の形が染みついているので、逆にその形でないと不安になるが、こども・若者にとって口の字の会議はとても緊張するようである。よりリラックスした雰囲気で見えやすいように、会議の場所、服装、時間などについて配慮が必要である。今回のグループワークの意見を整理したので、どうしたらこども・若者委員にもわかりやすくなるか、意見を言いやすくなるのか、参考にしてもらえたらと思う。

3 連絡事項

- ・ 次回の協議会は1月以降に開催予定。

以上